

日本ビジネス航空協会 会報

2017年3月号 (隔月刊)



JBAA JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

CONTENTS

- 会報発行遅延のお詫び 3 ページ
- ◇ ビジネス航空業界のトピックス・新着情報 4 ページ
- ◇ 協会ニュース 4 ページ
- ◇ 投稿 歌からの連想 6 ページ
- ◇ 入会案内・協会からのお知らせ 8 ページ

【表紙写真】 HONDAJET HA420

本年4月11日～13日に上海で開催されたABACE2017において中国で初披露された機体です。中国でもHONDAJETは入場者の注目を浴び、一目見ようとする人たちで連日見学者が押し寄せるほどの人気でした。

(Photo : JBAA)

会報発行遅延のお詫び

日頃から読者の皆さまには大変お世話になっております。

当協会の会報誌は、毎奇数月発行の隔月刊としてご案内をいたしておりますが、今般当3月号の発行が大変遅れまして、皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

毎号、協会事務局にて編集作業を実施しておりますが、業務処理上の不手際で発行が今になってしまいました。今後はこのようなことが起きませんよう十分な注意を払ってまいります。尚、本号の発行遅れに伴い、5月号の皆さまへのご案内は5月中旬頃となりますことにつきましても、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

今後とも、当協会の活動につきまして、ご支援を賜りますようお願いいたします。

一般社団法人 日本ビジネス航空協会

◇ ビジネス航空界のトピックス・新着情報

2016年のビジネスおよびジェネラルアビエーション航空機の出荷状況が公開されました

米国に本部を置く General Aviation Manufacturers Association (GAMA) は、2016年に全世界で出荷されたビジネスおよびジェネラルアビエーション航空機の機数と金額を発表しました。固定翼は、機数では前年に比べ 3.9%減の 2,241 機、金額では 14.1%減の\$20.7 Billion、回転翼は 16.9%減の 861 機、23.4%減の \$3.6 Billion でした。
(<http://www.gama.aero/media-center/press-releases/content/gama-unveils-2016-year-end-aircraft-shipment-and-billings-number>)

◇ 協会ニュース

平成 28 年度第 8 回理事会を開催しました

2月6日に平成28年度第8回理事会が開催され、2017年10月にラスベガスで開催される NBAA BACE (Business Aviation Convention & Exhibition) 2017 での日本ブースの出展を決めるとともに、2014年の航空局長宛て要望の進捗や、3月に本年度2回目の拡大専門委員会を開催することが了承されました。

拡大専門委員会を開催しました

3月9日に空港・グランドハンドリング、3月14日には運航・整備・技術・安全の拡大専門委員会が開催されました。9日には15社21名、14日には7社10名の会員が出席し、協会が当局に要望している事項の進捗状況が報告されるとともに、会員が抱える問題、今後の協会の取り組み等が議論されました。

「プライベートジェットチャーターに関するセミナー」が開催されました

3月16日、浜松町の貿易センタービルにおいて、朝日航洋(株)、中日本航空(株)、静岡エアコミュータ(株)共催、JBAA後援による“プライベートジェットチャーターに関するセミナー”が開催されました。

ビジネスジェット機の活用の事例として、中日本航空(株)による“患者搬送の効果と要請手続きのご案内”、朝日航洋(株)による“国内・国際線を視野に入れたビジネスジェットの運航と効果”、また静岡エアコミュータ(株)から静岡空港ビジネスジェットターミナルの紹介とチャーターのご案内“が実施されました。

セミナー後は、機内食の試食とともに懇親会が開催され、参加者による活発な意見交換が行われ、成功裏に終了いたしました。

協会では今後もこのようなセミナーの開催に積極的に協力して、ビジネスジェットの啓蒙

普及、発展をさらに推し進めて参ります。

主要協会活動（1-3月）

- 1月4日 日本航空協会主催の「新年賀詞交換会」が航空会館で開催され、佐藤航空局長を始め、来賓の方々が祝辞を述べられました。JBAAからは、田村副会長、佐藤特別顧問、森崎事務局次長が出席しました。
- 1月13日 東京都公安委員会が主催する「不当要求防止責任者講習会」が月島社会教育会館で開催され、協会事務局の責任者である森崎事務局次長が受講しました。講習終了後、受講者に受講終了書の交付がありました。
- 1月25日 全日本地域航空システム推進協議会主催による研修会、意見交換会が開催され、田村副会長、森崎事務局次長が出席致しました。
- 1月27日 東京ビックサイト新春の集いに岡田会長、田村副会長、佐藤特別顧問、角替事務局長、森崎事務局次長が出席し、関係者の皆さんと親交を深めました。
- 1月30日 財務省関税局監視課の方々が協会事務所に来訪され、「税関手続きにおける事前報告制度の見直し」について、概要説明と協会関係者への協力依頼がありました。尚、本件について3月9日開催の空港・グランドハンドリング拡大専門委員会に関税局関係者による詳細説明を実施しました。
- 1月31日 航空局主催の「将来の航空交通システムに関する推進協議会」のワーキンググループが開催され、高規格RNAV検討SGには朝日航洋運航技術室の山内さんが、小型機用RNAV検討SGにはJBAA事務局の角替が参加し、得られた情報を関係会員で共有しました。
- 2月6日 平成28年度第8回理事会が開催されました。（前述）
- 2月17日 東京航空局東京空港事務所主催の「東京国際空港 旧整備地区におけるエプロン等施設整備の計画に関する説明会」が東京空港事務所にて開催され、協会から角替事務局長、森崎事務局次長が出席しました。
- 2月28日 地方空港の利便性向上に向けた改善要望について、該当空港への要望書送付の事前主旨説明のため西日本地区空港を管轄する大阪航空局へ東山常務理事（拡大専門委員会委員長）と森崎事務局次長が出張しました。
- 3月1日 東日本地方空港への要望書送付の事前説明のため、田村副会長と東山常務理事が東京航空局を訪問しました。
- 3月9日 空港・グランドハンドリング拡大専門委員会を開催しました。（前述）
- 3月14日 運航・整備・技術・安全拡大専門委員会を開催しました。（前述）
- 3月16日 「プライベートジェットチャーターに関するセミナー」（主催/朝日航洋(株)、日本航空(株)、静岡エアコミュータ(株) 後援/JBAA）が開催されました。（前述）

◇ 投 稿

歌からの連想

会 員 湧 井 カレン (筆名)

Straight No Chaser

表題は往年のジャズピアニスト、セロニアス・モンクの作った名曲である。筆者が若い時に「ああこれがファンキー・ジャズやな」などと、聴き齧ったことを鵜呑みに、粹がって聴いていたものだ。

“Straight, No chaser”が駆けッコのことではなく、酒の飲み方だと知ったのは、ずいぶん後になってからのことだった。西部劇に出てくるジョン・ウェインが酒場でキュッと一気におおって 25 セント玉をポイと投げる、あの酒だ。

水やソーダで割ったりしない（ウーロン茶は本邦創設か）、43 度（当時の酒は 60 度ほどだったという）のウイスキーを Shot glass（30～60cc）で一気に飲む、その後に喉を冷やす水（Chaser）も無しで、の飲み方である。映画「大脱走」ではスティーブ・マックインが捕虜収容所で作った怪しげな酒を taste する場面も憶えている、ブリキのコップに並々注いで、ぐいと干してから、「Wow!」と唸るシーンがあった。ウイスキーグラスを Shot glass とは、さもありません、散弾銃のように喉に当る刺激が一発勝負なのだ。

きょう日、バーでそんな飲みかたをする男にお目に掛らないし、だいいち楽しくもない。いったいウイスキーを水や氷で薄める飲み方はアメリカから始まったものらしい。

Spirits（ウイスキーやジンなど、魂、勇気とも）は室温で Straight, No chaser で飲むのが本場イギリスではクラシックマナー、John Bull（イギリス魂）の正しい飲み方ようだ。Shot glass もタンブラーに変わった今は one finger, two finger とオーダーせよと筆者は教わった。指の巾で量を決める、水割りが主流でも Top off（屋台のコップ酒の注ぎ方、表面張力で盛り上がるまで）は止めたほうが好い、品がない。本邦ではシングル、ダブル、マンタンと言う。

ジョン・ウェインの投げたコインが 25 セントのはずは無いな、当時の物価なら 5 セントか、せいぜい 10 セントではなかったろうか？そこで Ten cent a dance（ひと踊り 10 セント）と言う歌に想いが移った。酒場で働く女性が客相手に一曲踊って 10 セント稼ぐ、ドレスは酒で汚されるしヒールの底は 3 日で擦り減る、という生活臭のある歌だ。今ならピンクサロンで・・・

いやいや・・・知らないことを書くのは止めよう・・・

編隊飛行で最も技量を求められるのは編隊長である。編隊長機が変な動きや無駄な機

動をすると僚機は追従するのに苦労するからだ、後続の機（僚機に続く僚機）ほど修正は大きくなって遅れを伴う。

ところで、筆者がむかし関わっていた飛行試験のミッションでは、時おり Chaser（随伴機）という仲間を伴うことがあった。供試機（試験される飛行機）に貼り付けた気流糸や外観を観察・記録するため随伴する飛行機のことだ。プロジェクトの指揮権者や技術者が乗り込んで、試験の Go-No Go の指示を出したりもする。装備品などで外形を変えた時の速度の Calibration(較正)や、速度計が故障した飛行機の着陸の支援などにも使われることがある。

試験飛行では Chaser は一見編隊僚機のように見えるのだが、編隊飛行との違いは Chaser が供試機の回りをかなりの自由度で動き回ることが求められる。供試機はあらかじめ決まったパラメーター（速度や姿勢、滑り角、Gear /Flaps の作動、失速など）で行動するので Chaser に構ってなどいられない、その存在は無視している。供試機の不意な動きや姿勢変化には Chaser が回避しなければならない。しかも観察や報告を維持しながらである。

昔 XB70 バルキリという爆撃機が試験飛行中に Chaser の F104 戦闘機と空中で接触し、両機が墜落した悲劇を覚えておられるだろうか。最近では Data link が利用され、Telemetry(遠隔通信)になったので、試験データは Real time で地上の Data Center で解析されるから Chaser は過去のモノになりつつあるようだ。

Chaser が供試機より性能が良く、機動性に優れているのが理想であるが、同じ型式機だったり、Chaser の性能が劣っている時には仕事は難しくなる。

ジンベエザメに寄り添うコバンザメのような、供試機と Chaser の関係だが有り難くもあり、時にうるさい奴でもある。

こんな場面では Straight (away) No chaser =「**シッシッ！ あっち行け**」と言うのだろうか。しかしそのフライトが終われば両者は De-Briefing で顔を合わせ、互いに意見を交える仲間なのだ。

その夜行き着く所で両者の Spirits は

・・Two finger で乾杯、Wow！・・



シッシッ あっち行け！

◇ 入会案内

当協会の主旨、活動にご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしています。会員は、正会員（団体及び個人）と本協会の活動を賛助する賛助会員（団体及び個人）から構成されています。詳細は事務局迄お問い合わせ下さい。入会案内をお送り致します。

入会金	正会員	団体	50,000 円
		個人	20,000 円
	賛助会員	団体	30,000 円
		個人	1,000 円
年会費	正会員	団体	126,000 円以上
		個人	20,000 円以上
	賛助会員	団体	52,500 円以上
		個人	10,500 円以上

◇ ご意見、問い合わせ先

事務局までご連絡下さい。

（一社）日本ビジネス航空協会 事務局

〒100-0006 東京都千代田区有楽町

1丁目1番3号

東京宝塚ビル 10F 丸紅エアロスペース (株) 内

電話: 03-5157-7525

Fax: 03-5157-7510

web: <http://www.jbaa.org>

e mail: info@jbaa.org

